

文化施設の在り方に係る調査業務委託 評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1)趣旨理解	趣旨の理解	提案が本業務の目的を理解した内容となっているか。	30 <12>
(2)業務実績	提案事業者の業務実績	本業務の目的達成に必要な知見や専門知識、ノウハウ、実績を有しているか。	10 <4>
(3)業務執行体制等	①執行体制	本業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。進捗確認など松山市との連絡・調整が速やかに行える体制か。問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	20 <8>
	②配置予定技術者の適性	本業務の効率的な執行に有用と考えられる業務経験や専門的な知見などを有しているか。	
(4)提案内容	①的確性・実現性	現状と課題を把握し整理したうえで、類似実績などが明示された、計画性のある実現可能な提案か。	80 <32>
	②発想力	松山の地域性や、多様な観点が考慮され、時代の変化を見据えた魅力的な発想のある提案を行っているか。	
	③調査・分析	関連法令・計画や他市事例、将来需要等の調査・分析を行う手法が適切か。 市民アンケートの実施やモデルプランの作成、概算工事費積算の手法が適切か。	
	④明瞭性	資料や説明がわかりやすく、理解しやすいものであるか。	
(5)価格	委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	(1 - 提案額 / 提案限度価格) × 60点【小数点以下切捨て】	60
合 計			200